

クローズアップ!

成長加速に向け海外不動産事業等新領域での業容拡大を図る

デュアルタップ

3469・JQ

ジャスダック上場のデュアルタップ(3469)は4月12日に販売用不動産の売買契約締結を発表し買い材料視された。1600円台だった株価は1800円を抜ける水準まで上昇している。市場の期待を集めたのは「新たな事業が来期以降の成長ドライバーになる」との観測だと言える。

でもマンション経営が始められるファイナンススキームと高い稼働率を誇るサポート体制が特徴だ。このビジネスモデルで成長を続けている同社が、新たな事業へと乗り出した点はしっかりと押さえておきたい。

「売却したホテルです。これは2012年3月に取得した物件です。函館駅から徒歩7分で、ビジネスにも観光にも便利な立地です。北海道新幹線が開通や、外国人観光客の増加を見越して取得しました。98室ありますが、当初の目論見通りに高い稼働率で運営出来ており、今回、売却の判

断をしました」
白井貴弘社長は、以前のインタビューでも「投資用マンションの開発・販売の事業においては売上高で約100億円という水準が目標」と語っているが、今期(2017年6月期)の通期業績予想では売上高が94億6800万円とほぼ目標圏に入ってきており、新たな事業展開を加速するタイミングと言えよう。

現在、育成しているのが海外不動産事業だ。2月21日には、シンガポールの不動産仲介業者との業務提携を発表。同社が国内で開発・供給する物件情報を海外投資家に紹介すると同時に、シンガポールのパートナー企業を通じて海外不動産の情報を国内の投資家に向けて紹介する仕組みだ。他の地域では、マレーシアで不動産管理業を行っているが、新たにタイでの展開を準備中だという。

同社の業績予想は別表記載の通り。第2四半期

を終えて通期業績予想の達成が射程圏にあるが、同社の視線は既に来期以降の事業拡大に移っている。

2017年6月期	第2四半期連結業績
売上高	47億6900万円
営業利益	1億2100万円
経常利益	6200万円
四半期純利益	3300万円
2017年6月期	通期連結業績予想
売上高	94億6800万円
営業利益	4億4000万円
経常利益	3億3300万円
当期純利益	2億1300万円

※今期から連結業績に変更となっているため前期比較は無し